由利本荘市立由利中学校 校報　　「チーム由利中　心ひとつに」

# 根堀台だより

平成28年10月21日

第 52 号

校 訓「 進 歩（文 ）」「 健 康（武 ）」「 協 力（道 ）」

# 小中合同挨拶運動
# 元気を地域に発信

秋の空のように爽やかな挨拶

〇さんからアドバイス

１０月１８日と１９日の２日間、由利小学校玄関前で「小中合同挨拶運動」を行いました。 両日とも冷え込みが厳しい霧の深い朝でしたが、７時頃から生徒会と生活安全委員会のメンバーが由利小に集まり小学生の登校を待ちました。由利高原鉄道が前郷駅に到着する頃から集団登校の子どもたちが増え始め、校庭いっぱいに元気な挨拶が交わされるようになりました。

集団登校の先頭の上級生は勿論、中学年や低学年の子どもたちも大きな声で「おはようございます」の挨拶を頑張っていました。中学生は「立ち止まり挨拶」を型として中学生らしく、相手の目を見てきちんと礼をしながら「おはようございます」と声をかけていました。１日目、生活安全委員長の〇〇〇〇さんが小学生に「礼をして挨拶することの大切さ」についてお話をしました。２日目、生徒会長の〇〇〇さんは「礼をして元気な明るい声で挨拶していて立派です」と小学生の取組を褒めました。

このように小学生と中学生が一緒に活動することは、小中の学校間の垣根を低くすることだけでなく、中学生は「年長者」としての自覚が高まり、小学生は中学生の姿を通して、自分のこれからの行動規範とすることができます。また、このような小中が連携した取組は「地域の一体感」を醸成するものでもあります。これからも継続して取り組んでいきたいと思います。

さて、合同挨拶運動に参加して気になったことがあります。それはマスクをかけて登校してくる小学生が多かったことです。小学校の先生からは「小中で兄弟がいる子どもが風邪にかかっているケースが多い」「今回の風邪は熱が上がったり、下がったりして、登校していいかどうか判断に困る」というお話を聞きました。ここ数日気温差の大きい日が続きます。中学校でも体調を崩している生徒が増えています。服装で体温を調整するとともに、「手洗い」と「うがい」をしっかり行うことや、偏食をしないでバランスのよい食事をとること、何よりも規則正しい生活習慣を心がけることが「健康への近道」です。中学生らしく「自己管理」をしっかりと行うことです。

# 記念式典に向けて
# 記念植樹の準備

イチイの木

植樹の準備も万全

　１０月２３日（日）の記念式典当日、講演会終了後「記念植樹」を行います。植樹するのは「イチイ」の木です。今回は「〇〇園芸さん」に樹木の手配から移植も含めてお願いしました。

　そこで１７日の午前中に記念植樹のための準備を行いましたが、作業を担当したのは偶然にも本校の卒業生で、〇〇〇〇〇教諭と同級生の方でした。５０周年という特別な年の特別な縁を感じた次第です。「イチイ」はすでに植えられましたので、当日の「記念植樹」は生徒の代表も含めて「土入れ」を行います。まっすぐ大空に向かって伸びてくれることを願っています。

# 第５回実力テスト
# ガンバレ３年生！

　１０月２０日（木）、第５回実力テストが行われました。全部で９回行われる高校入試に向けた実力テストですが、もう半分を超えたことになります。入試本番が近づいてきたことを実感させられます。

　１１月３日（木）「ゆりの根教室」当日、５校時に３年部による「入試説明会」を行います。今年度の高校入試の動向や入試事務などについて詳しくお話をしますので、３年生の保護者の皆さんは是非ご来校下さい。

　さて、先日の校報で「ロングＹＣＳ」についてお知らせしましたが、３年生は大変意欲的に取り組み、帰宅後の学習も充実してきているそうです。３年生の気持ちがしっかりと「受験モード」に切り替わったからだと思います。この調子で頑張ってほしいものです。

　冬を「追い込みの時期」とすれば、この秋は「基礎・基本を身に付ける時期」です。学校の授業を大切にすると共に、これまで行った実力テストなどを参考にして、苦手な「過去問」に再チャレンジすることが大切です。前にできなかった問題が簡単に解ければ「自信」がつきます。今もよく分からない問題なら、先生方に聞いて解いてみましょう。まだ時間があるうちに、しっかりと「実力」を身に付けたいものです。